

平成24年度  
実施事業

事務事業名 キウシト湿原緑地保全事業

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	2	自然環境の保全と回復
主要な施策	2	②貴重な自然を保全するための環境整備
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 10 年度 事業終了年度 平成 26 年度 会計種別 一般会計

部 名 都市整備部 グループ名 都市計画・公園グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

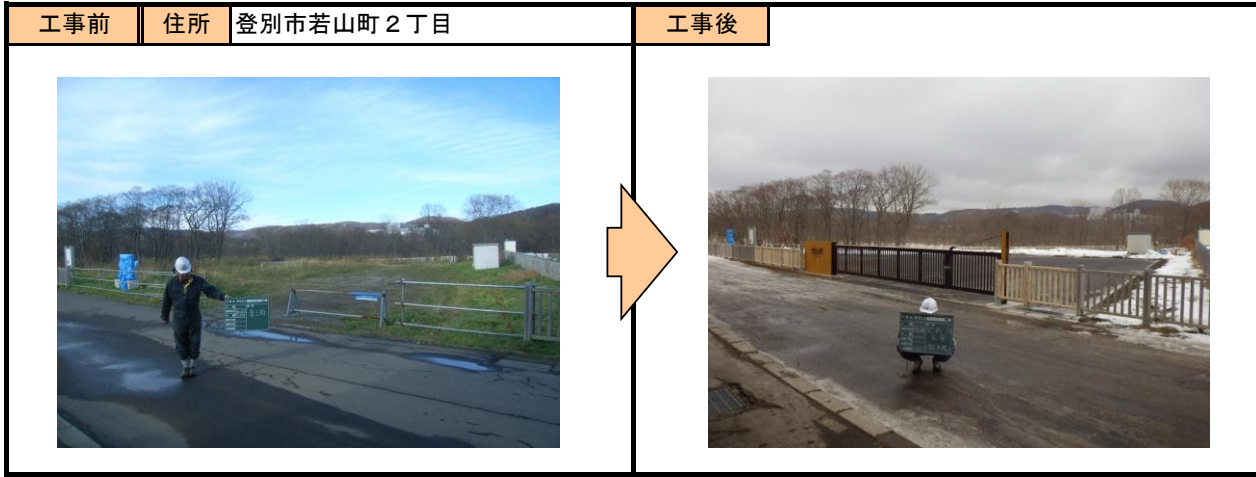
目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	多様な動植物が生息するキウシト湿原の管理等に必要な施設整備や用地取得を行うことにより、湿原の保全や自然体験・学習等の場として利活用を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	キウシト湿原の保全と利活用を図るために必要な施設整備と用地取得を行った。 【事業実績】 ◎施設整備（主な整備内容） ・ 駐車場 一式 ・ 門扉 一式 ・ 柵 79m ・ 照明灯 1基 ◎用地取得 ・ 用地買収 496㎡（1筆）
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分	単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金 名称 キウシト湿原緑地保全事業費補助金	千円	17,225	13,767	4,500	15,000	
道支出金 名称	千円					
地方債 名称	千円	18,800	16,100	7,000	14,100	
その他 名称	千円					
一般財源 名称	千円	17	55	800	2,600	
事業費 合計		36,042	29,922	12,300	31,700	0

指標の推移 《Check》

区分	単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 事業進捗率	目標値	83	91	95	100	
		実績値	85	93			
	②	目標値					
		実績値					



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 本事業は市街地に存する貴重な湿原の保全と活用に向け、用地取得と施設整備を行うものであり、市が主体的に行うべき事業である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 キウシト湿原は、希少な動植物が生息しており、環境省の「日本の重要湿地500」にも選定されていることから、この湿原の保全と利活用を図るため本事業の必要性は高い。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input checked="" type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 貴重な湿原を保全し利活用を図るための施設整備と用地取得を行う事業であるので、建設費や用地取得に係る費用は要するが事業効果は高い。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input checked="" type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input checked="" type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 事業の完了に向け着実に進捗率が上がっている。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	キウシト湿原は環境省の「日本の重要湿地500」に選定され、また特別緑地保全地区にも指定されている。この市街地に存する貴重な湿原の保全と活用を図るため、事業を維持する必要がある。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）